

平成24年度八王子市立中学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 理科(理科) (1/1枚目)

調査の観点	発行者名	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
1 内容 (1)発達段階に即している (2)興味・関心を引き出す配慮 (3)本市の学力の実態へ配慮		身のまわりの事象から導入した後、「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」などの主体的な活動を設定し、興味・関心を高める工夫がされている。	小学校で身につけた知識をこれから学ぶ学習内容に関連させて、探究の能力を高める工夫がされている。高度な内容を含んでいる。	生徒の興味や関心を高めるために実験観察を重視している。現在の教科書と異なる順番で単元が配列されている。身近なことに配慮されている。	第3学年の終章については前の単元につなげている小単元がある。ハローサイエンスにより、学習したことが実生活にどう活かされているか知る工夫がされている。	導入部分で問いかけの表記が多く、学習意欲を引き出す工夫がされている。見出しの発問形式を多くして取り組みやすくしている。
2 構成及び分量 (1)内容の組織配列、発展的記述 (2)発達段階に配慮した分量 (3)基本事項の押さえと補充教材 (4)発展教材への配慮		基本的な学習内容では、ゆとりをもった分量になっている分、発展的な学習内容に時間を当てることができる。基礎的・基本的な学習が充実している。	第2学年で原子・分子の学習を先行したことで、動物の消化吸収、電流と電子の流れが粒子として理解しやすい。「発展」では、高校へつながる内容が掲載されている。	大単元の表題が目立たない。直接体験の際の操作技能が示され、単元最初を中心に実験観察が行われている。発展的な記述、資料が少ない。読み物が多い。	実験説明がすべてイラストで表記されている。単元によって発展的な内容の分量に差がある。単元末問題の量は豊富で、基本事項を定着させる工夫もされている。	別冊の「マイノート」を活用することにより、基礎学力の定着を段階的に図ることができ、「力だめし」、「学年末総合問題」で応用力を養えるようにしている。
3 表記及び表現 (1)生徒にとって読みやすい表現 (2)印刷、写真等の見やすさ		文字が中1では小6と同じサイズで、見やすい。写真や図も鮮明で見やすい。	文字は通常。生徒の顔写真が多い。重要な部分の写真は大きく印刷されている。	文字の大きさや行間も読みやすい間隔である。写真サイズも大きく見やすい。	ページ数が少なく注釈が多いため、文字や写真が小さめである。	文字は小学校程度。大きな写真や図は鮮明であり、見やすい。
4 使用上の便宜 (1)全体が構成見渡せるよう配慮 (2)課題発見、解決に向けた学習が効果的に進められる配慮 (3)印刷、装丁への配慮 (4)地域性への配慮		課題提示がされていて自ら探究ができるようにしている。レポート作成の参考資料が掲載されている。参照ページの表示によって、分野をまたいだ関連事項が分かるようになっている。地域資料集が無い。	巻末に研究課題の手順が詳細に書かれている。終章「学んだことを活かして」で生徒の解決に向けた学習が効果的に進められる工夫をしている。自由研究の例が豊富である。地域資料集が無い。	何を調べることになっているかが明確である。小学校からの既習事項と、今後学習する内容との接続をはかるためのフローチャートに構成されている。地域資料集が少しいある。	各章の最初に何を学ぶのか簡単に述べられている。化石写真の中に八王子出土のものが三枚は入っている。実験観察項目が一般的なものに限られる。身近な材料を利用している章末チャレンジ実験がある。	各単元、分野毎に全体構成が表記されている。各項目で学習課題を明確に指示し、結果・考察までしっかりと導いている。思考力の育成を図っている。1,2年生の巻末に地域資料をまとめて掲載。
5 総合所見(重点調査項目) (1)日常生活との関連性		「科学のとびら」というコラムがあり、科学の有用性について詳しく書かれている。	「くらしの中の理科」では、日常生活に関連した話題が多く扱われている。	章の始めにイラストで、身近な生活場面から疑問点を解き明かすようにしている。	ハローサイエンスなどにより、学習したことが日常生活をつなげる工夫がされている。	学習の導入場面で多く取り上げている。現場を身近に感じさせる工夫もされている。
(2)資料(写真・図・グラフ)の活用のしやすさ		図・写真が活用しやすい。グラフの書き方では、複数のページにわたり誤差の説明も含め詳細に示している。	写真や図が少ない。グラフの書き方を説明している。巻末に接頭語や有効数字についての記載がある。	巻末に資料が豊富であるため、どの写真や図を利用していくのかを指示する必要がある。グラフの書き方の説明はある。	巻末にある写真や図が少ない。実験の説明の図がわかりやすいが、不足を感じる。グラフの書き方の説明はある。	話題性に富んだ写真や平面的・立体的な図が見やすく丁寧である。マイノートでグラフの書き方の習熟を図っている。
(3)観察・実験のしやすさ(安全性・教材・時間・説明)		使用する薬品には分量や濃度が明記しており、実験がしやすい。安全への説明が詳細である。	実験方法の順序が示されている。危険防止の配慮がなされている。マイクロスケール実験が取り上げられている。	実験操作の基本は豊富な図やイラストで丁寧にまとめられている。	文章説明は細かくフローチャートで読みやすいが、イラスト等が少なめで操作の方法を掴みにくい所もある。	目的やポイントが明確で、結果や考察が詳しく解説してある。サイエンス資料として安全指導が充実している。
(4)小学校の振り返り学習		既習事項とこれから学習する内容とを比較し、スムーズに入れるようにしている。	各単元、章ごとに小学校の振り返りがあり、チェックできるようになっている。	章の最初に見開きページで今までの小学校の学習の振り返りがある。	章の最初と内容の中で今までの学習の振り返りが注釈程度出てくる。	各単元、章毎にあり、小学校図版や算数の振り返りも掲載されている。
(5)表現活動がしやすいか		まとめたレポートや研究内容の発表の仕方を詳しく説明している。言語活動の例や場面が充実している。	自由研究の内容が豊富である。終章「学んだことを活かして」で生徒の言語活動を促す工夫をしている。	レポートの書き方・調べ方・グラフの書き方・自由研究のまとめ方などが丁寧である。現象について説明する問題もある。	レポートの書き方・調べ方・グラフの書き方・自由研究のまとめ方などがある。要所ごとに、「考えよう」が設けてありよい。	レポート作成、発表を通して思考力と表現力を育成する工夫がされている。マイノートで表現の習熟も図っている。